

社会教育委員会 会議概要

1	審議会名	第8期第6回社会教育委員会
2	日 時	令和4年8月4日(月) 午後1時30分から午後3時20分まで
3	会 場	本庁舎 202・203 会議室
4	出席者	竹花のり子委員 小山ひとみ委員 清水洋幸委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員 上野勝裕委員 小平千文委員 宮下俊哉委員 山崎順子委員
5	市側出席者	上原生涯学習・文化財課長 山田生涯学習係長 宮崎生涯学習係主任 古平地域学校支援員
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年8月20日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 第8期社会教育委員会の提言に向けて

- ・第7期上田市社会教育委員会提言の取り組み方、取組状況の報告と委員から提出された質問の回答について

(代 表) 前回の会議において、提言とは何か、法的根拠の説明と第7期までの社会教育委員会の提言提出の経過について確認した。現在の委員は8期であるが、提言を提出していくということで確認がされているが、意見交換を行う中で、7期の提言内容について取組状況を確認し、振り返りを行ったうえで、今回の提言を考えていくことになった。事務局に取組状況をまとめてもらい、委員の皆さんに事前送付し、質問を受け付けている。今日はその中から質問の回答を事務局からお願いしたい。できれば課題を出していただきながら、提言のテーマを決めていきたい。話し合い次第ではあるが、賛同いただければ本日提言のグループ分けまで行いたい。

(事務局) (提言の取組状況について) 一度目を通していただいているため、地域学校協働活動、社会教育の推進、公民館運営審議会のあり方、図書館利用についてと各項目ごとに説明し、協議いただきたい。

- ・提言の考え方、取組状況について説明
- ・事前に出された委員からの質問について回答

(代 表) 事前質問の他に本日どうしても確認したいことがあれば挙手で。
(各委員) 意見無し

(代 表) 2年度の提言についての取組状況については確認できた。前回の提言提出から2年経過しているもので、活動を行う中で、感じていることなど出てきていると思う。新しい提言や本年度の提言に沿って行くような考えも含め、課題と考えていることあったら意見を出していただきたい。

(事務局) 今回、前回の提言の振り返りをしたが、進捗においては早々に結果が出るものではない。取組の内容は考え方について説明をし、この進捗に関して課題と捉えることがあれば、提言に盛り込んでいくことになっていくと思うが、課題として捉えることがないという解釈でよいか。進捗においてその方向性で進めてもらいたいというのは、当然のこと2年で終わる話ではないので、引続き取り組んでいく。

- ・第8期社会教育委員の提言について

(代 表) 7期の提言についてはこれで確認できたとしても、新しい内容で提言する場合も、過去の内容は出てきてしまう。

背景には今の現状があり、継続中のものもあり、これから取り組んでいくものもあり、今後、強力的に取り組んでいってもらえるということを考えながらというかたちにしていきたい。

- (委員) (事務局から7期提言の取組状況について) 報告をいただいて、これはこれで委員から意見をいただいたということ。
- (代表) 委員の言う通り、これを土台にして、もっと発展するような形や、全く新しい課題を出していただきたい。例えば、コミュニティスクール、図書館、公民館、その他にも青少年や上田市の社会教育の推進など、課題として感じていることがあれば、併せて意見も出してほしい。
- (委員) コミュニティスクールは学校運営協議会を設置している学校を指すが、地域と一緒にやる地域学校協働活動があり、何もやっていない学校はないと思う。地域学校協働活動が組織化され、ボランティアネットワークが組織化されているとすると、コーディネーター、学校と地域を繋ぐものとして非常にありがたいと感じる。例えば、企業、社協、公民館、NPOといったものの組織化は、なかなか個人ではできない。行政である程度ネットワーク化を目指して動いてくれば、コミュニティスクールの推進が非常に大きく前進していくと思っている。その辺りを提言に盛り込んでいきたい。
- (委員) 今まで学校だけのコミュニティスクールだったが、地域学校協働活動のうち、それらをつなげる部分を盛り込んでいければと思っている。時間もないので、今日はテーマを決めて、それぞれの担当を決めていくことと、前回の提言の内容からテーマを大体分けると3つ、多くても4つぐらいできるかと思う。
- (委員) 委員から出たテーマ
- ・コミュニティスクールの推進
 - ・公民館の広報
 - ・図書館のデジタル化
- (代表) 基本的には委員から出された3つのテーマでまとめ整理していく。(テーマの)数はそれほど増やせないが、皆さんの意見が反映できるようにしたい。これ以外でやりたいという方がいるか。
- (委員) 代表と代表代理で整理していただけるのであれば、1人1人の思いがある中で、それぞれの方に聞いていくと時間もない。確認したいことをこの場で確認し、関心のあるテーマを聞いていけばどうか。
- (委員) 少し違う視点になってしまうが、人権と教育や社会の関わりというような内容はどうかと思っている。
- (委員) ・それぞれの委員からテーマに関する想いを確認
- (代表) ・委員の意見を基にグループ分け
- テーマも案であるため、内容の要点考えていただき、期限までに事務局まで提出をお願いしたい。
- (事務局) どんな内容かがわかる程度に要点をまとめてお送りいただきたい。ある程度絞れるようなテーマとして見えてくれば、その内容を次回で掘り下げていただきたい。
- (委員) 出された意見を社会教育委員の皆で共有し、やはり委員皆が賛成して提言のひとつになれば、発案した委員が1人でも2人でも関係ないと思う。委員の皆さんの中でいかに共有し、大事なものと思えるかということだと思う。
- (代表) これは大事だということに気付き、是非提言で伝えたいと思えばそれはそんな形で進めたい。皆さんに提出いただいたところで事務局と相談していく。
- (代表) 次回は学習会という形で開催させていただきたい。

(2) 成人式年齢引き下げ後の成人式新名称について

- (事務局) 成人式引き下げ後の成人式名称について報告と途中経過について説明する。
来年令和5年1月8日に予定している成人式の対象年齢は20歳で行うと決定しているが、成人年齢が18歳ということが民法改正により決定されていることから、令和5年度以降の成人式について、新名称に変更する必要がある。成人式の対象年齢を決定の際、18歳で行うか、20歳で行うかについて、当事者である高校生にアンケート調査を実施。その結果を参考に年齢も決定した。まず、令和5年の成人式対象者に新名称のアンケート調査を実施。それに合わせて本日の会議で、委員の皆様はこの方法について報告する。御意見いただき、アンケート調査の結果を踏まえ、教育委員会で決定していく予定。
- ・アンケート調査の内容について説明
 - ・今後の日程について説明
- (代表) 説明を聞いて委員から意見はあるか。

(代 表) 8月末には決定するということか。
(事務局) コロナ関係もあり、開催方法等早めに周知していかなければならない。
(委 員) 名称は教育委員会の中で参考にして選出されたものか。
(事務局) 県内、他市の状況を参考とした。
(代 表) その他に質問等なければ、進めていただくということで承認してよいか。
(各委員) 異議なし

5 その他 特段なし

6 閉 会